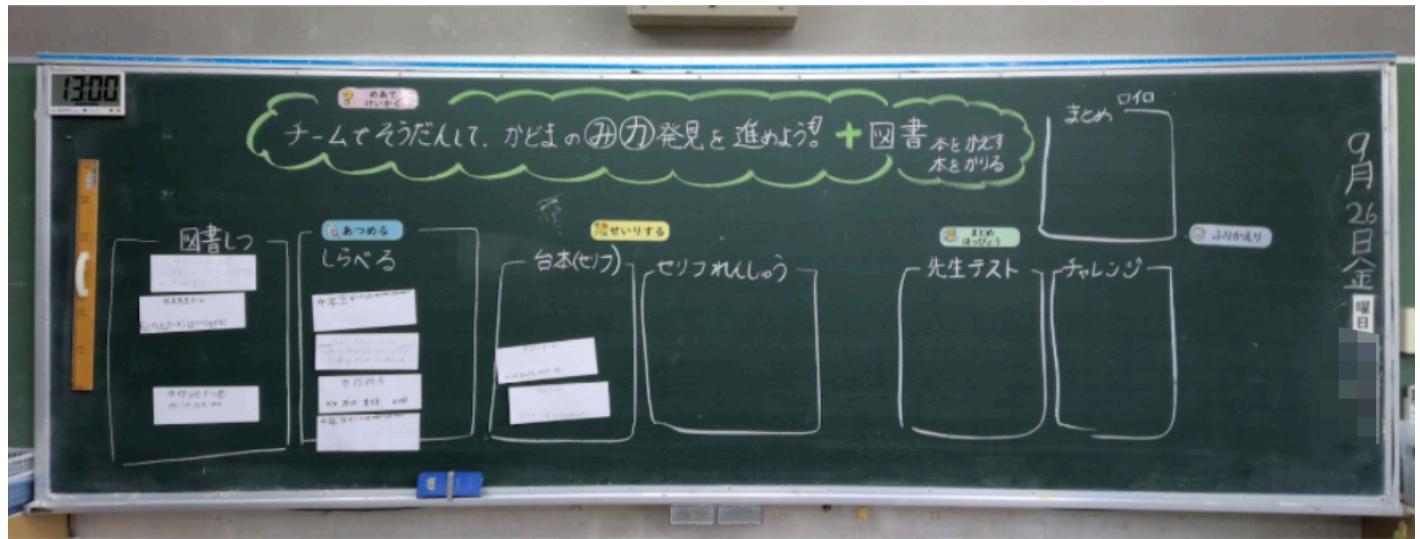


9月28日 3年生 総合「発見！門真じまん！」⑤

1. かだいせってい

「チームで そだんして、かどまのみりよく発見を どんどんすすめよう！」



2. 2時間の流れ説明

- ・チームごとにどの活動をするか相談し、それぞれのペースで進める。
- ・図書の本を返し、新しい本を借りる(図書室に行くタイミングは、自分たちのチームで)

3. チームと共有ノート

1・2組合同で作業ができるように、新しく共有ノートをついたことを紹介しました。

■ ノート ■ 共有ノート ■ 提出箱

+ 新しい共有ノートを作る

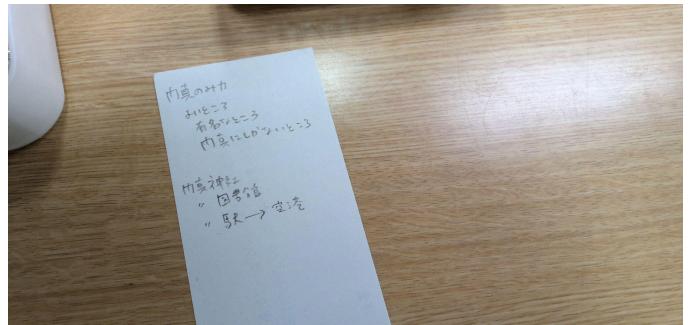
- 4年生チーム
- 5年生チーム
- 6年生チーム
- お家の人チーム
- お店・タクシーチーム
- まちかどチーム
- 原本
- 工場・会社 (パナソニック) チーム
- 市長さんチーム
- 市役所・ガラスケ
- 町の人チーム
- 門真の本・図書館チーム

4. かつどうスタート！

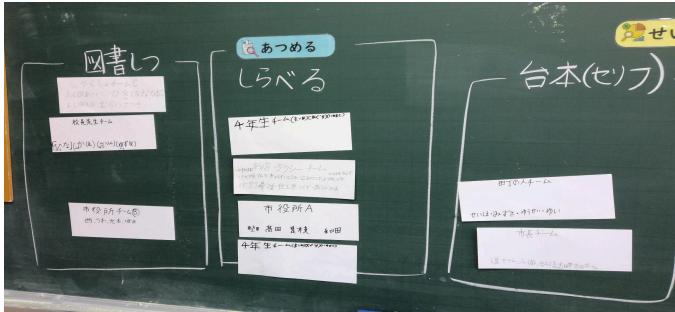
チームに分かれ、相談していました。



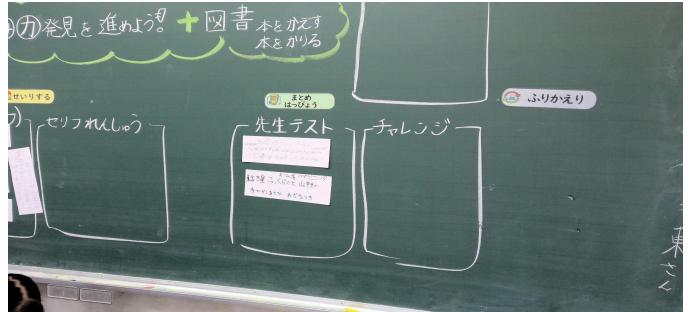
図書室で、H先生に返却のスタンプを押してもらっています。ふだんの図書よりなんだかワクワクした様子？



H先生にも「みりょく」を聞いたチームも。駅があつて、空港までつながっているということで、「あ！ここから日本全国行ける！アメリカにも行ける！すげー！」となっていました。すかさず、「これも、メモしちゃー！」



いま、どのチームがどの活動をしているか子どもも教員も確認できるような工夫。



セリフの先生テストの前には自分たちでテストをしているチームもありました。



台本をいっしょに考えているところ。共同作業しています。



でんわテストにチャレンジ。「もしもし…」



しつもんの中身を相談しています。こちらも、共有ノートで。



「いいところをおしえてもらう。」「あんた、そんなしつもん大きいから、もっとくわしくしてって言われてたやーん！」

5. ふりかえり

全員集まると、楽しくなってきてざわざわモードが続きます。

2回一堂に集まる場面がありましたが、周りを見て声掛けする人、雰囲気を感じて目を合わせる人と、今どうしたらよいのかを考えて行動できる人が増えてきました。

児童は学んで力をつけていることを実際に姿勢にあらわしてくれています。

【担当者のつぶやき】

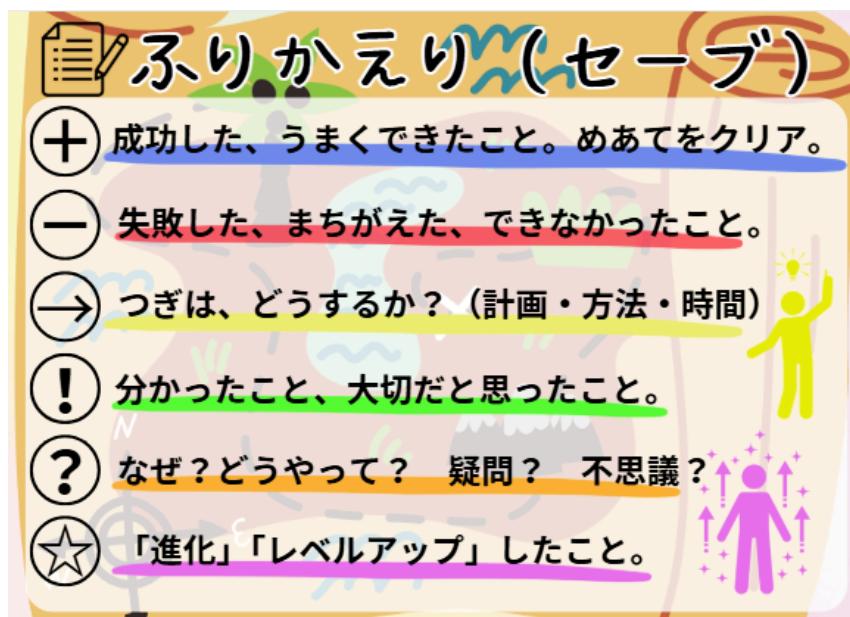
これは、M先生・T先生が、日頃から、こうした姿を当たり前ととらえるのではなく、

児童にその都度価値づけているからこそ、児童の身についていっているものだと考えています。

この実践、学校中に広げたい！

さて、話を戻します。

今回書く時間は取れなかったので、ふりかえりカードを示し、チームでふりかえってもらいました。



+ セリフを考えてテストできた！

(担当者のつぶやき: 何度も練習して先生テストに来ていたチームがありました！)

+ 自分だけじゃなくて、みんなでそうだんして進められた！

(担当者のつぶやき: 人まかせにしないだけでなく、自分だけでもなく、みんなでやろう という意識が素晴らしいです！！)

【マイナスについてかけている人に、理由をインタビュー】

− しつもんをあまりノートに書けなかった。

担当者「じゃあ、つぎにどうする？？」

児童「えっと、つぎはたくさん書けるようにする」

(担当者: おおー、いいやんいいやん！)

— ちょっとふざけて、そうだんがすすまなかつたところがあつた…。

担当者「じゃあ、つぎにどうする？？」

児童「えっと、つぎはふざけずに、さいごまでがんばる！！」

(担当者:うんうん、つぎはそうしような！！)

【担当者のつぶやき】

次への目標につなげながら、マイナスを書けているのがいいなと思いました。

それぞれ次にがんばりたいことを出し合って、ふりかえりを終えました。

つぎの時間もがんばろうという気持ちが伝わってきました！！